

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '桜川市文化協会助成事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about cultural festival and committee activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for '市民文化祭の開催', '桜川市文化協会加盟団体および会員', and '市民の文化芸術への関心を促し...'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing financial and personnel input data for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計 (A), and 正規職員従事人数.

30年度事業費実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table comparing 30年度実績 and 01年度予算 for 事業費の内訳. Includes rows for 19 負担金補助及び交付金 and a total row.

(4) 当該年度の実施内容

01年度の事業内容

02年度の事業内容

03年度の事業内容

Table for 当該年度の実施内容 with a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Includes a list of main activities and an arrow pointing to the right.

事務事業名	桜川市文化協会助成事業	事務事業No.	20202000622	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 岩瀬・大和・真壁地区の文化協会が合併を機に桜川市文化協会を設立。市の芸術文化の向上、振興をはかるためにはじめた補助事業。平成28年度より7つの専門部を中心に活動を行うと共に、部門ごとの連携を行うようになった。平成28年度より、本協会の主催事業を開催。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 組織構成員が高齢化しているため、協会としての組織運営、庶務(事務)が困難な部分が多い。そのため、事務局(行政担当)の協力、助言が必要。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市総合計画の政策に合致している
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 規約をもつ団体として組織が確立されており、補助金の交付条件(会員からの負担金徴収)を満たしている。文化行政施策、文化振興を支える貴重な組織である
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 平成28年度より支部制を廃止し、各部門制に組織再編を実施。各部門間の連携を図ることで、活動内容の質の向上を図ることができる
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市の文化振興行政を支え、施策、計画等の指針となる組織の一つである。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 市民文化祭事業 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 桜川市市民文化祭実行委員会と連携ができる
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 各専門部の事業計画等に応じて補助金を計上している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員から負担金を徴収しており、各専門部の予算にそって補助金を計上、交付している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・各専門部において、事務局(行政)からの指導を必要とする部分がまだ多い。組織全体としては、自立化しようとする動きもみられる。桜川市文化協会主催事業を実施し、事業開催に携わった役員については組織力の必要性を認識できた。専門部独自の活動も行われ、部門間の交流もできてきており、文化振興の内容が深まってきていると思われる。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 ○ 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・組織再編から3年が経過し、各部門での懸案事項の確認、7部門の加盟ジャンル団体の見直しについて部長より意見を書類にて提出してもらい来年度にむけて7部の専門部長で会議を開催し調整を図るよう指導していく。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---